

おやしきどきいつかつ
「御屋敷土器一括」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（考古資料） 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市教育委員会収蔵庫
- 所 有 者 千曲市教育委員会
- 概 要
 - (1)壺 基本的には弥生時代の箱清水式土器の壺ですが、口縁部の折返しやくびの部分に簾状の文様が付くこと、赤く彩色されないこと、球形胴となるなど大きく変化しています。
 - (2)無頸壺 口縁部が欠失しているため、器形は明らかではありません。朱彩が行われています。
 - (3)高坏 内ぞりの坏をのせたもので朱彩が行なわれています。脚部に丸玉（土製）が 2 個封じられています。
 - (4)台付甕 口縁部が S 字状をしている東海地方の欠山式土器に影響された土器です。
 - (5)甕 箱清水式土器の甕と同様ですが、櫛状工具で器面を整えた跡が残り小形です。
 - 寸法 (1) 口径 14.9 cm 底径 5.1 cm 器高 19.6 cm
 - (2) 現存高 15.0 cm
 - (3) 口径 14.3 cm 底径 5.4 cm 器高 18.3 cm
 - (4) 口径 12.4 cm 底径 14.2 cm 器高 15.2 cm
 - (5) 口径 14.4 cm 底径 8.2 cm 器高 24.0 cm
- 時 代 弥生時代末～古墳時代初頭（3 世紀末から 4 世紀初頭）
- 公 開 非公開

